

# キョーリン製薬グループの歩み

1960
1970
1980
1990
2000
2010
2020
2025

### 経営基盤に関わる内容

- 1923 東洋新薬社創業
- 1931 杏林化学研究所設立
- 1940 杏林化学研究所を杏林製薬に改名、杏林薬品を設立
- 1947 岡谷工場開設
- 1962 杏林化学研究所開設
- 1967 野木工場開設
- 1977 中央研究所開設
- 1992 杏林製薬・杏林薬品合併
- 1995 能代工場開設
- 1996 日清キョーリン製薬設立
- 1998 ミルトン事業買収
- 1999 東証第二部上場
- 2000 東証第一部へ指定替え
- 2001 Kyorin USA, Inc.設立 (2020.3 解散)
- 2002 Kyorin Europe GmbH設立 (2023.3 解散)
- 2004 ActivX Biosciences, Inc. 子会社化(2023.3 解散)
- 2005 東洋ファルマー(現:キョーリンリメディオ)買収(後発医薬品事業参入)
- 2006 純粋持株会社体制へ移行
- 2008 日清キョーリン製薬を吸収合併
- 2010 売上高1,000億円達成、キョーリン製薬ホールディングスへ商号変更
- 2012 キョーリン製薬グループ工場創業
- 2015 わたらせ創業センター設置
- 2017 ジェイタスを吸収合併(診断事業参入)、高岡創剤研究所設置
- 2018 キョーリン製薬グループ工場稼働
- 2022 東証プライム市場移行
- 2023 創業100周年、杏林製薬を吸収合併し、事業持株会社体制へ移行、杏林製薬へ商号変更
- 2024 高岡工場開設

### 戦略、考え方

#### 創業～1994年

研究開発・生産・販売機能を持つ企業基盤の構築

#### 1995年～2009年 MIC計画

#### 2010年～2022年 HOPE100

#### 2023年～2032年 Vision 110

「人々の健康に貢献したい」という想いのもと、1923年に杏林製薬の前身となる東洋新薬社を創業し、注射薬の製造販売を始めました。1960年代には新薬の研究開発に向けた体制を構築し、現在に至るまで、新薬の研究開発・生産・販売等を通じて人々の健康に貢献してきました。これからも医療ニーズに応える価値の高い新薬を創出し、企業価値向上に努めるとともに、人々の健康に幅広く貢献する企業を目指して成長を続けます。



## 製品の歴史

